

## 論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 （ 工 学 ）	氏名	BANNI SATRIA ANDOKO
学位授与の要件	学位規則第4条第1・2項該当		
論 文 題 目 Analysis and Support of EFL Reading Comprehension with Kit-build Concept Map (キットビルド概念マップによる外国語としての英語の読解の分析と支援)			
論文審査担当者			
主 査	准教授	林 雄介	印
審査委員	教 授	金田 和文	印
審査委員	教 授	平嶋 宗	印
〔論文審査の要旨〕			
<p>本研究は、外国語としての英語の読解を対象として、オープン情報構造アプローチに基づく読解内容の外在化環境の設計・開発・評価に関するものであり、読解対象の英文の情報構造を概念マップの形式で表現し、この概念マップをノードとリンクから組み立てる再構成活動として読解内容を外在化し、元の文と作成した概念マップの対応づけをすることで再構成活動を振り返る環境を開発し、実践的・実験的に評価している。まず、概念マップの再構成としての読解内容の外在化の有効性を確かめる一つの試みとして、日本の大学での小規模な実験で学習者が自由に概念マップを作成する場合と再構成する場合を比較し、外国語としての英語読解者に見られがちな逐次的な読解が再構成の場合には起こりにくいことを示した。次に、インドネシアの大学での英語講義において、再構成活動の振り返り環境の効果を英文読解学習で一般的な要約作成、再構成活動のみと比較し、振り返り環境が有効であることを検証している。</p> <p>第1章では、母国語としての英語の読解と外国語としての英語の読解の違い、概念マップなどの図的表現の有効性について述べている。</p> <p>第2章では、本研究の背景として、外国語としての英語の読解の学習に関する研究と概念マップを用いたオープン情報構造アプローチに沿って行われてきた概念マップ組立に関する研究について述べている。</p> <p>第3章では、日本の大学での小規模な実験において、学習者が自由に概念マップを作成する場合と再構成する場合を比較し、外国語としての英語読解者に見られがちな逐次的な読解が再構成の場合には起こりにくいことを示している。この際、読解スタイルを判別するために <b>paragraph remaining</b> という指標を提案した。</p> <p>第4章では、再構成活動の振り返り環境を提案し、インドネシアの大学での英語講義における200名以上の被験者による実践的利用を通じて、再構成活動の振り返り環境の効果を英文読解学習で一般的な要約作成、再構成活動のみと比較し、振り返り環境が有効であることを示している。</p> <p>第5章では、これらの一連の研究成果をまとめ、オープン情報構造アプローチに基づく英文の読解内容の外在化とその振り返りを可能にする環境の有効性を示せたと結論付けている。</p> <p>以上、審査の結果、本論文の著者は博士（工学）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。</p>			

備考：審査の要旨は、1,500字以内とする。